

投資家との対話と経営層等へのフィードバックサイクル



投資家との対話

株主・投資家の皆様との積極的な対話を通じ、経営に関する情報開示を推進するとともに、資本市場の声を経営に反映しています。

実績

| 内容 | 回数 | 主な担い手 |
|----------------------|------|--------------------|
| 機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会 | 4回 | 社長、IR/SR担当役員 |
| 事業戦略説明会(不動産事業) | 1回 | 社長、担当役員 |
| 機関投資家・証券アナリストとの個別対話 | 151回 | 社長、IR/SR担当役員 |
| 社長スモールMTG | 1回 | 社長、担当役員 |
| 証券会社主催カンファレンス | 2回 | IR/SR担当役員 |
| 機関投資家議決権行使担当者等との個別対話 | 31回 | 社長、社外取締役、IR/SR担当役員 |

経営層等への共有

株主・投資家との対話を通じて得た要望や示唆は、定期的に経営へフィードバックし、取締役会等で議論のうえ経営に反映しています。

実績

| | |
|-------------------------------|------|
| 決算発表後の市場の反応や投資家の声を取締役会、役員会へ報告 | 年12回 |
| 四半期ごとの対話内容を当社および事業会社へフィードバック | 年4回 |
| 四半期ごとの対話内容を事業会社経営企画部へフィードバック | 年22回 |

株主・投資家からの要望や示唆

不動産事業への外部資本導入

- 資本市場や不動産の知見を持つ社外取締役の監督のもと、適正なプロセスを経て最善の意思決定が行われることを説明してほしい。
- 不動産事業への外部資本導入については、パートナー候補者の決定に至る検討プロセスの妥当性を、事後に株主が検証できるよう開示してほしい。

キャッシュフローロケーション・酒類事業の成長戦略

- 中長期戦略と整合する成長投資を優先し、一定期間その機会がない場合は、柔軟な株主還元を検討してほしい。
- 国内市場の縮小を見据えた中長期戦略に加え、当社が目指す姿を明確に示してほしい。
- 資本効率の向上のみを目的にせず、企業価値の最大化につながる戦略の策定について、取締役会で十分に議論してほしい。

ガバナンス体制

- 収益性の向上が最大の課題である中、現在の取締役会はその実現に向けて最適な布陣と言えるのか。あわせて、5年後を見据えたスキルセットの検討状況も示してほしい。
- 役員報酬は以前に比べて改善しているものの、固定報酬の比率はなお高いと感じる。取締役会として、株価をより強く意識した運営を進めるべきではないか。

当社における気付き・成果

- 株主価値の最大化と不動産事業会社の持続的成長の実現に向け、候補者間の競争環境を最終段階まで維持しながら最適なパートナーを選定するとともに、その決定に至る検討プロセスを詳細に開示した。

【取締役会での取り組み】

- 取締役会に加え、知見を有する社外取締役を含む分科会や全体での集中討議を活用し、社外取締役がプロセス全体に関与して監督機能を十分に発揮できる体制を構築した。

- 不動産事業への外部資本導入で得た資金は、酒類事業への戦略的な成長投資、不動産事業に関連する負債返済による財務健全性の維持・向上、配当に加え自己株式取得も含む株主還元、バランスよく配分する方針を開示した。

- 酒類事業を中核に据え、外食事業などの顧客接点を活用した価値体験の提供(Bonds with Community)や、強みを持つレモンの活用による健康機能価値の訴求(Healthier Choice)を柱とする、当社独自の新中期経営計画の策定に着手した。

【取締役会での取り組み】

- 2027年を初年度とする新中期経営計画の策定に向けた議論を開始した。取締役会での議論に加え、事業課題、成長戦略、財務・人財・DX戦略などをテーマとする集中討議も複数回実施した。

- 独立社外取締役が過半数を占める取締役会体制のもと、取締役会に加え、集中討議や社外取締役のみで構成する委員会を積極的に活用し、議論の充実を図った。また、機関投資家との対話にも独立社外取締役が参加し、資本市場の意見を直接把握する機会を設けた。

【取締役会での取り組み】

- 指名委員会では、今後の経営戦略と課題を踏まえて取締役会のスキルマトリックスを見直し、これに基づき新任取締役候補の選定を進めた。
- 報酬委員会では、取締役の報酬制度について、中長期的な業績向上と企業価値の増大に向けた適切なインセンティブ機能の強化と、株主との株式価値共有という観点から、業績連動報酬の割合を高める制度改正を実行した。